

市民要望による民地の空間放射線量測定結果

平成25年11月1日現在

	測定日	測定場所	測定結果(μSV/h)	備考
平成23年度				
1	10月28日	平原	0.03~0.05	庭・雨水ます
2		和田	0.04~0.11	駐車場・雨どい下
3	11月16日	石峠	0.03~0.04	庭・雨どい下・菜園
4		御牧ヶ原	0.06~0.07	倉庫前・倉庫下部
5		東山	0.05~0.07	庭・側溝
6		天池	0.04~0.08	駐車場・側溝
7		天池	0.04~0.04	側溝
8	11月21日	御影	0.05~0.34	雨どい下
9	11月28日	宮沢	0.06~0.09	道路側溝
10		石峠	0.05~0.07	庭・道路側溝
11	12月1日	谷地原	0.05~0.10	道路側溝
12		谷地原	0.05~0.05	道路側溝
13		諏訪山	0.05~0.07	庭・畑
14	12月8日	石峠	0.04~0.04	玄関前・庭
15		井子	0.05~0.06	庭・雨どい下
16		一ツ谷	0.05~0.06	玄関前・落ち葉
17	12月9日	石峠	0.04~0.06	庭・雨どい下
18		滝原	0.05~0.06	庭・畑
19		六供	0.05~0.06	庭・雨どい下
20	12月13日	押出	0.04~0.04	畑(落ち葉)
21		赤坂	0.04~0.06	庭・雨水ため
22		石峠	0.03~0.04	庭・側溝の落ち葉
23	12月16日	南町	0.04~0.04	畑
24		市	0.05~0.05	庭・雨水ため
25	12月26日	御牧ヶ原	0.03~0.07	畑・剪定枝チップ
26		天池	0.03~0.04	落ち葉・もみがら
27	1月10日	耳取	0.05~0.05	畑
28		耳取	0.05~0.05	庭・雨水ます
29	1月16日	東山	0.04~0.07	住宅内
30	1月23日	天池	0.04~0.06	住宅内・庭

31		柏木	0.04~0.05	庭・雨どい下
32	2月6日	石峠	0.03~0.07	庭・薪ストーブ灰
33		石峠	0.03~0.04	庭
34	2月13日	石峠	0.05~0.05	木酢液・雨水ます
平成24年度				
35	4月18日	南町	0.05~0.08	しいたけ原木・雨水ます
36	4月26日	諏訪山	0.06~0.06	玄関前・雨水ます
37	5月7日	御牧ヶ原	0.07~0.08	側溝・屋根下
38		御牧ヶ原	0.05~0.05	庭・屋根下
39	5月11日	六供	0.05~0.06	庭・雨水ます
40	5月17日	石峠	0.04~0.06	雨どい下
41	6月14日	御影	0.04~0.05	広場・水田
42	7月4日	御影	0.04~0.21	畑・雨水だまり
43		西八満	0.04~0.04	庭・雨どい下
44	8月20日	田町	0.05~0.06	庭・雨どい下
45	9月14日	芝生田	0.03~0.04	敷地内
46	11月27日	耳取	0.05~0.05	畑
平成25年度				
47	4月30日	石峠	0.03~0.04	玄関前・庭

測定方法：シンチレーションサーベイメーター（ALOKA TCS-172B）による簡易測定（各箇所とも、地表及び地上50cmにて30秒経過毎に5回計測し、その平均値を採用。）

国際放射線防護委員会の勧告では、平常時における自然放射線以外の公衆の被ばく限度量は年間1ミリシーベルト（1,000マイクロシーベルト）とされており、放射線量が1時間当たり0.23マイクロシーベルトの場合における、年間の追加被ばく放射線量は1ミリシーベルトにあたります。

0.23マイクロシーベルトの内訳

- ・自然界（大地）からの放射線量：0.04マイクロシーベルト
- ・事故による追加被ばく放射線量：0.19マイクロシーベルト

1日のうち屋外に8時間、屋内（遮へい効果（0.4倍）のある木造家屋）に16時間滞在するという生活パターンを仮定

$$1 \text{ 時間あたり } 0.19 \text{ マイクロシーベルト} \times (8 \text{ 時間} + 0.4 \times 16 \text{ 時間}) \times 365 \text{ 日} \\ = \text{年間 } 1 \text{ ミリシーベルト}$$